

教点連ニュース 第2号 No.2

平成19年8月20日

・盲学校における特別支援の実態

8月1日に鳥取県民文化会館で開かれた全国盲学校普通科教育連絡協議会（普連協）の総会で、盲学校が実施している特別支援についての実態調査報告がありました。アンケートの結果をまとめたものです。盲学校に相談に来た事例と、盲学校の教員が出かけて行って指導した事例の双方について報告がありました。

その中で、一般校で統合教育を受けている児童・生徒が誰かについて、はっきりした指摘はありませんが、盲学校の教員が出かけて行って指導している事例は、明らかに統合教育を支援していると考えられます。普連協の集計結果から以下に紹介しますが、幼稚園、養護学校在籍者、弱視者は除きました。

筑波盲（中1）、平塚盲（小4、中1、中3）、名古屋盲（小4）、滋賀盲（小6、小6）、京都盲（高3）、和歌山盲（高2）、大阪府盲（小1、小2、小5、中1）、大阪市盲（小3、小4）、兵庫盲（小1、小1）、岡山盲（高3）、都立久我山盲（小・中1）、都立葛飾盲（小5）

以上、小学校13人、中学校5人、高校3人という集計になっています。

一方、盲学校に相談に来た事例では、小学校45人、中学校8人、高校4人となっています。ただ、この中で点字教科書を使用している児童・生徒がどのくらいいるかははっきりしていません。実態調査第2弾で、各盲学校に調査します。なお、統合教育予備軍として、幼稚園児が66人もいたことは注目すべきことです。（理事長 田中徹二）

・拡大教科書検討会議に参加しました

8月2日（木）14時から18時まで、教科書研究センターで標記会議が開催されました。文科省から教科書課長ほか3名、国立特別支援教育総合研究所の研究員2名、筑波大付属視覚特別支援学校教官、NPOで視聴覚障害者援護に携わる団体、大学関係者、全国拡大教材製作協議会、それに教科書会社の拡大教科書小委員会のメンバーや教科書協会事務局等、全体で30名ほどの会議でした。教点連からは、高橋秀治副理事長と込山が、オブザーバーとして参加しました。

会議は1部と2部からなり、まず第1部では国語・理科・算数・地図などの画像データを拡大する際に、実際どのようにするかについてのデモンストレーションがボランティアによって行われました。教科書の文字情報をスキャナーで取り込み、それをそれぞれの子どもの見え方に合わせて、パソコン操作（必要な場合には手書も加えて）により、拡大率や方法・背景色の工夫などを細かくしなければならぬことが説明されました。

第2部は意見交換でした。「拡大教科書用デジタル・データへの主な要望事項」に基づいて、ボランティア側からテキスト・データはもちろん、画像データも使い易いように変更することが要求されました。これに対し教科書協会からは、11月位までにテキスト・データの提供を考えているが、画像データについては、著作権の問題もあって難しいという回答がありました。最後に、拡大教科書を必要としている児童・生徒の権利を保障するために、法改正を含めて検討することを確認して散会しました。

教点連にとって、教科書本文をデータで提供が受けられるとすれば大いに助かります。今後、全国拡大教材製作協議会等と連携を密接にし、文科省や教科書協会と話し合い、要求を実現させていきたいと考えています。（事務局長 込山光廣）

・筑波技術大学が情報系点字図書を提供事業を開始

同大障害者高等教育研究支援センターは、昨年10月に、情報・理数点訳ネットワークを立ち上げました。これは、視覚障害大学生の学習資料の中でも確保が難しいとされている、情報・理数系分野の点字図書を整備するための組織です。ネット参加の首都圏六つの点訳グループが点訳実務を担当し、同センターが運営事務を行っています。このほど、第1期分の図書の点訳が完成し、その提供が開始されることになりました。完成した点字データや点図データは大学に所蔵し、希望に応じて、バイнда製本の形態または電子データで、点字使用学生やその教育に携わる大学関係者などに無償で提供されます。事業開始時点で提供できるのは13タイトル。情報処理の基礎を学ぶのに役立つ図書です。

なお、同ネットでは、点訳の質的向上を図る目的で、これまでに、

- ・触図や情報処理点字に関する研修の実施
 - ・触図作成技法テキストの作成と配布
 - ・点訳方法の相談や情報交換のためのメーリングリストの開設
 - ・点訳基準の策定と冊子体での配布
- などの取り組みを行っています。

詳しくは、<http://www.ntut-braille-net.org/>をご覧ください。（理事 長岡英司）

・実態調査にご協力ください

教点連では、実態調査第1弾として、点字教科書を必要とし、統合教育を受けている児童・生徒がどの位存在するか、アンケート実態調査を実施しています。調査依頼が届いた団体・施設では、できるだけ正確な結果が得られますようにご協力をよろしくお願いいたします。

言うまでもありませんが、ご回答いただいた個人情報は、教科書点訳が順調に進むこと以外には使用いたしません。

・会員拡大にご協力ください

教点連の年会費は、(1)情報提供施設 2万円、(2)ボランティア団体 5千円、(3)協力個人 5千円となっています。統合教育を受けている児童・生徒のために教科書を点訳しておられる団体以外でも、会員になっていただければ、点訳活動に役立つ情報が得られます。ぜひご入会ください。

発行日：平成19年8月20日

発行所：NPO法人全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

発行人：田中徹二

連絡先：（社福）日本点字図書館 担当：田中・古谷《こたに》・小野俊

〒169-8586 新宿区高田馬場1-23-4

Tel：(03)3209-0241 Fax：(03)3204-5641

E-mail：nitten@nittento.or.jp